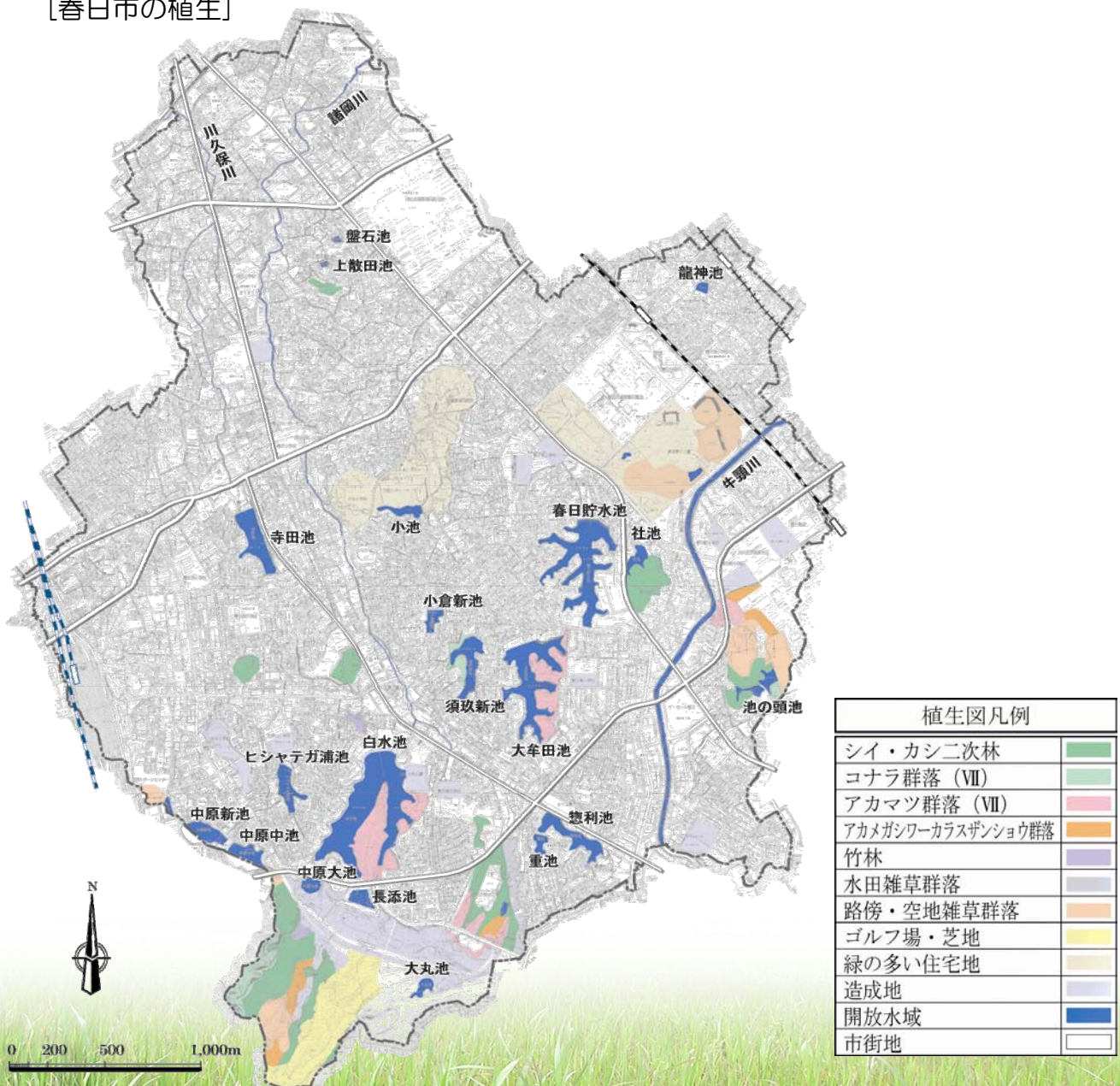


1. 春日市の自然

私たちの住んでいる春日市は、日本の中でも早くから米作りが行われた農業のさかんな地域でした。米作りにはたくさんの水が必要です。筑後川などの大きな川に恵まれなかった私たちの先祖は、水を得るためにたくさんのため池を作りました。かつて、その数は100を超えていたそうです。“水とみどりのまち”、今から80年前の春日市は、山林と田んぼとため池の広がるのどかな農村地帯でした。

その後、次第に都市化が進み、今では山林も田んぼもずいぶん少なくなりました。ため池も20箇所が残るのみです。このような中、春日市にはどのようないきものがいるのでしょうか。またどんな生活をしているのでしょうか。

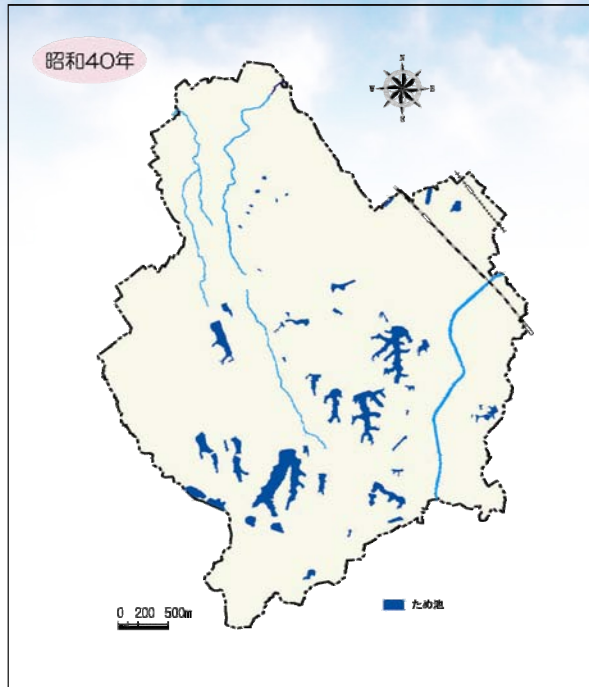
[春日市の植生]



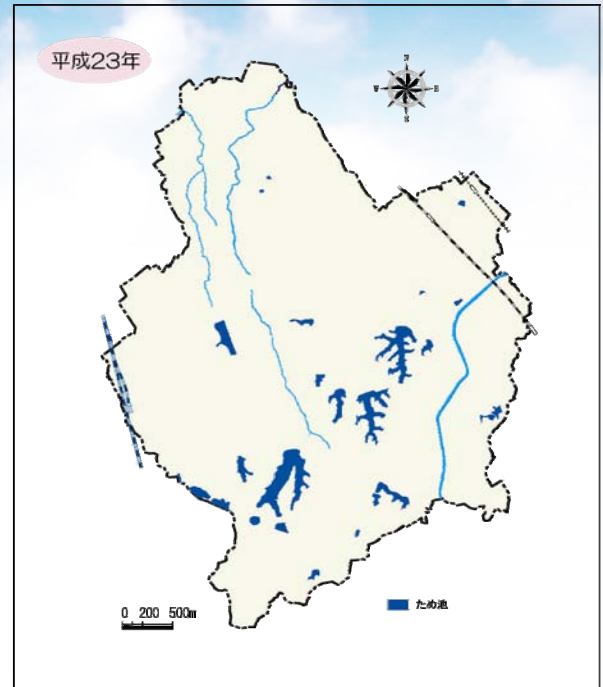
◎春日市のため池の移り変わり

春日市のため池は、かつては100箇所以上存在していましたが、現在では20箇所が残るのみです。現在、これらのため池は、市のため池保全条例で守られています。

下の左の図は昭和40年9月のため池の状況で、右の図が現在のため池の状況です。



参考資料：昭和40年9月測図春日町全図資料

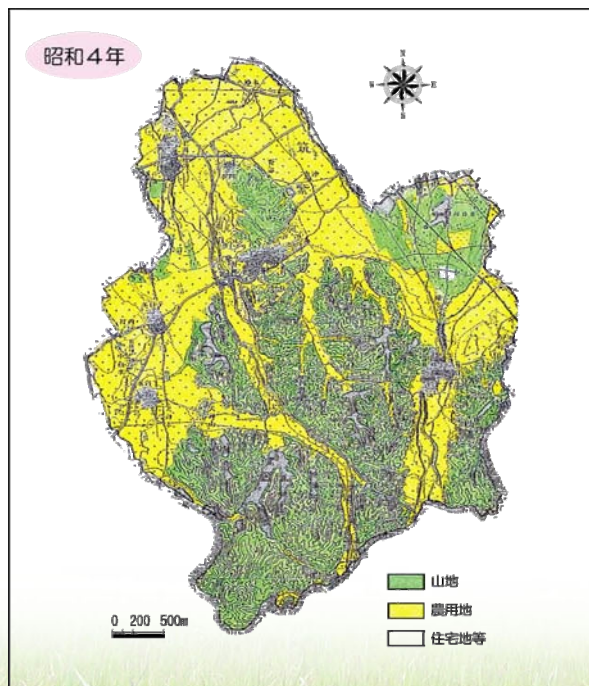


参考資料：春日市環境基本計画策定業務基礎調査報告書

◎春日市の土地利用の移り変わり

下の左の図が80年前の土地利用のようすで、ほとんどが農用地や山地でした。

右の図が20年前の土地利用のようすで、農用地や山地が少なくなり、住宅地が増えています。



参考資料：春日市環境基本計画策定業務基礎調査報告書（平成12年3月）を一部改良

